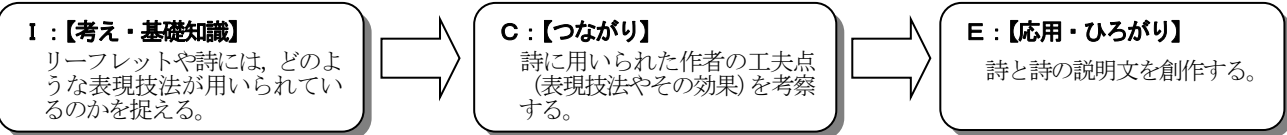


国語科	第1学年	呉市立東畑中学校	指導者 神原 真美
単元名	創造することの面白さ ～意図をもって工夫する～ 「それだけでいい」 杉みき子 (三省堂)		令和5年11月7日 男子19人 女子12人 計31人
本単元で育成する資質・能力		知識・技能／思考力・判断力・表現力／主体性・感謝・貢献	

1 単元について



生徒の実態

- 事前に取ったアンケートによると、詩やリーフレット、小説などの創作活動をしたことのある生徒は全体の85%と多い。しかし「自身が創作した作品の工夫点や効果について説明することができる」という項目への解答には否定的な回答が76%だった。工夫を凝らして創作し、それを自分の言葉で説明できるようにしたい。
- 意見はあっても、根拠とともに説明することが難しい生徒が一定数いる。「どうして?」と問わないと、理由を言えないことがある。

単元の目標

- 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の工夫を理解して使うことができる。【知識及び技能】(1) オ
- ◎ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。【思考力・判断力・表現力等】C(1) エ
- 言葉が持つ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝えあおうとする。【学びに向かう力・人間性等】

教材について

- 本単元は、中学校学習指導要領国語編「C読むこと」の(1)エ「文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。」に示されている指導事項である。
- 詩には、作者のものの見方を表現するための工夫がある。
→内容・構成の工夫点や、表現技法とその効果について学ぶことができる。
- 詩や、その他の創作物は、他の単元や他学年での教材のみならず、実生活においても触れることがある。どのような工夫点や効果があるのか、考えさせることができる。

学習活動とその特徴

まず、昨年度の「クリーン活動」のリーフレットを見せ、作者の工夫点を見つけさせる。目を引くリーフレットには、どのような工夫点があるのかを考え、その工夫点を用いたリーフレットを創作する活動を設定する。何かを創作する時には、工夫を凝らすことで、相手に内容や自分の気持ちが伝わりやすくなることに気付かせる。次に、詩を鑑賞し、作者の工夫点を見つける。表現技法やその効果についても確認し、詩を読み味わう。さらに、クラスメイトと相互フィードバックを行いながらオリジナルの詩の創作及び詩の説明文を書く活動を設ける。以上のような言語活動を通して、本単元でつきたい資質・能力を育成できると考える。相手にわかりやすく伝えるために工夫を凝らすリーフレット作成と、自分の思いを効果的に表すために工夫を凝らす詩の作成、二種類の「創作」活動にそれぞれの目的があり、目的によって工夫は異なるということに気づかせたい。

指導のポイント

- ① 事前に、さまざまな詩に用いられた表現技法とその効果について考える時間を設け、生徒が詩を創作するときに、参考にできるようにする。
- ② 意見を書く・発表する場面では、「なぜそう考えたのか」という根拠を述べることを習慣化する。生徒間の交流の際や、授業の振り返りシート記入の際にも、根拠とともに意見を伝えさせる。

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学習指導要領	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の工夫を理解して使っている。	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。	言葉が持つ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝えあおうとしている。
校区で設定した資質・能力	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・感謝・貢献

3 単元の計画（全13時間）

次	時	学 習 内 容	評 価			他教科等との関連
			知	思	態	
第一次	1	(本質的な問い) 創造することの面白さは、どこにあるのだろうか。 課題の設定 (単元を貫く問い) 文を作る面白さは、なんだろう。				技術科 棚の創作 美術科 ポスターの創作 小中一貫クリーン活動
	2	・ クリーン活動のリーフレットに表現された工夫点を見つける。		○	○ 作者の工夫点を進んで見つけようとしている。(2) (ノート・生徒観察)	
	3	・ 見つけた工夫点をもとにして、今年のクリーン活動のリーフレットを創作する。		○	○ 言葉による見方・考え方を働かせ、表現している。(1) (振り返りシート・生徒観察)	
第二次	4	情報の収集 ・ 「ふるさと」「赤とんぼ」などの歌詞を用いて、詩の種類・表現技法を学ぶ。	○		○ 言葉による見方・考え方を働かせ、表現している。(1) (振り返りシート・生徒観察)	音楽科 歌詞の種類（口語自由詩・文語定型詩など）
	5	・ 練習用の詩を用いて、表現技法を見つけ、効果を考える。		○	○ 作者の工夫点を進んで見つけようとしている。(2) (振り返りシート・生徒観察)	
	6	整理・分析 ・ 「それだけでいい」鑑賞		○	○ 作者の工夫点を進んで見つけようとしている。(2) (振り返りシート・生徒観察)	
	7	・ 「それだけでいい」作者の工夫点とその効果について考え、クラスメイトと交流する。 本時		○	○ 根拠とともに書いた自分の意見を相互に交流し、自分の意見について再思考している。(3) (4) (振り返りシート・生徒観察)	
	8	・ 「それだけでいい」の説明文を書く。		○	○ デジタル機器を用いて、詩の説明文を執筆している。(6) (ロイロノート・生徒観察)	
	9	まとめ・創造・表現 ・ 自身の思いを伝えるために、どのような工夫をするか考えながら詩を創作する。		○	○ 言葉による見方・考え方を働かせ、表現している。(1) (振り返りシート・生徒観察)	
	10					
	11	・ クラスメイトと、創作した詩の相互フィードバックを行う。		○	○ 意見を相互に交流し、自分の意見について再思考している。(4) (振り返りシート・生徒観察)	
	12	・ 創作した詩の説明文を執筆する。		○	○ 自分の意見を、根拠とともに書いている。(3) (ロイロノート・生徒観察)	
第三次	13	実行 ・ 創作した詩と、詩の説明文を相互鑑賞する。 振り返り ・ 単元の振り返りをする。		○	○ 創作した詩と詩の説明文を相互に見て、考えたことなどを伝えあっている。(4) (振り返りシート・生徒観察) ○ 単元全体を振り返り、学びを振り返り、振り返りシートに記入している。(5) (振り返りシート)	

4 本時の展開（本時 7／13）

（1） 本時の目標

○ 筆者の工夫点とその効果について、根拠を明確にして、自分の言葉で説明することができる。

（2） 本時の展開

	学習活動	◇指導上の留意点 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への手立て ★生徒指導の三機能につながる手立て	評価規準（評価方法） ○教科の指導事項
課題の設定 (5分)	1 本時のめあてを確認する。	◇ 単元最後の創作活動と本時のめあてのつながりを意識させる。 作者の工夫点とその効果について、根拠を明確にして自分の考えを述べよう。	
情報の収集 (5分)	2 詩に用いられている表現技法を確認する。	この詩には、どのような表現の工夫が用いられていましたか。 ◇ 詩のどの部分にどのような表現技法が用いられていたか、思い出させる。 ◆ 思い出せない生徒はロイロノートを見るよう促す。 ◇ 表現の工夫には「構成」「表現技法」「内容」があることを確認する。	・「冬は純白の 夏は緑の頂が」 →「対句」によりリズムが生まれる。 ・「だけでいい」 →「反復」により、強めることができる。
整理・分析 (10分)	3 詩の音読	表現の工夫を確認しながら、詩の音読をしましょう。	
	4 詩の中から作者の思いが伝わる工夫点を探し出し、自分の意見を書く。	作者の伝えたい思いはなんですか。作者の思いを伝えるための工夫点はどこだと思いますか。＊ <u>根拠を明確</u> にして、自分の意見を書きましょう。 ◇ 三角ロジックを思い出させ、根拠を明確にして書かせる。 ＊ 主張→「作者の伝えたい思い」 根拠→「 <u>事実（工夫点）</u> 」と「 <u>理由付け（効果）</u> 」であることを確認する。 ◆ 書き方がわからない生徒には、例を送信する。 ☆【自己決定】工夫点だと思う部分を自分で選択する。	作者の伝えたい思いは、「自分にできることを頑張るだけでいい。」ということだと思う。 それを伝えるための工夫点は「表現技法」で、「だけでいい」を反復させていることだ。詩の中には8回も「だけでいい」が使われていて、何度も使うことで読者の印象に残る効果がある。「だけでいい」と言われると特別なことはしなくてもいい、という気持ちになる。だから、作者は思いを伝えるために、「だけでいい」を反復させたのだと思う。（B評価）
再思考・表現 (25分)	5 作者の工夫点を班内で紹介しあう。	書いた意見を、班内で紹介しあいます。 「自分では気づけなかった！」や「新たな発見！」について、振り返りシート右側にメモしておきましょう。班員の意見について、コメントしましょう。 ◇ 自分が選んだ工夫点が「構成」「表現技法」「内容」のどれか、も紹介させる。 ◇ 班内で交流が終わったら、自分の意見を写真に撮って、ロイロの提出箱に提出させる。	
	6 全体交流をする。	作者の伝えたい思いと、それが伝わる工夫点を発表してください。 ◇ ロイロノートを各自が開くよう指示をする。「構成」「表現技法」「内容」の工夫点がそれぞれ出るように指名する。	○ 根拠とともに書いた自分の意見を相互に交流し、自分の意見について再思考している。（3）（4）（振り返りシート・生徒観察）
	7 個人で再思考する。	他の人の意見を聞いて、あなたの意見をもう一度考えて、書いてみましょう。	

振り返り (5分)	8 本時を振り返り，次時への見通しをもつ。	◇ 左：めあてについて できた/できなかった その理由 右：振り返りの問いに答えさせる。 【問い】クラスメイトの意見を聞いて，「なるほどな」と思ったのは，どのような工夫点ですか。自分の意見と比較しながら，理由とともに答えましょう。	
--------------	-----------------------	--	--

5 板書計画

○作者の思いが伝わる工夫点はここだ！	詩	思考力・判断力・表現力	創造することの面白さ ～意図をもって工夫する～ 「それだけでいい」 杉みき子
		めあて	
		作者の工夫点とその効果について，根拠を明確にして自分の考えを述べよう。	